

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

|        |            |         |    |              |
|--------|------------|---------|----|--------------|
| 記入年月日  | 平成15年3月24日 |         |    |              |
| 平成15年度 | 事業コード      | 1711102 | 電話 | 042 769 8299 |
| 担当部課名  | 企画部        | 広聴広報    | 課  | 広聴 班         |
| 事務事業名  | 市民の週間事業    |         |    |              |

## 1 総合計画における位置づけ

|       |      |                     |        |
|-------|------|---------------------|--------|
| 政策名   | 第7章  | 個性豊かなコミュニティづくりを進めます | 事業開始年度 |
| 基本施策名 | 第1節  | 市民主体のまちづくり          | 63以前年度 |
| 施策名   | 第1施策 | 個性豊かな地域づくり          |        |

## 2 実施根拠及び関連法令等

|           |
|-----------|
| 市民の週間実施要領 |
|-----------|

## 3 事務の区分

|      |
|------|
| 自治事務 |
|------|

## 4 経費の区分

|       |
|-------|
| 義務的経費 |
|-------|

## 5 事務事業の分類

|       |
|-------|
| 市単独事業 |
|-------|

## 6 受益者負担

|    |
|----|
| なし |
|----|

## 7 事業概要

|   |            |
|---|------------|
| (1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか   | (2)対象(誰、何) |
| 市民憲章の精神を踏まえ、自分たちのまちは自分たちでつくるという理念をもって、多くの市民と共に、住みよいまちづくりを進めるための活動を実施  | 不特定多数の市民   |
|   | 対象数        |
| (3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容  |            |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の週間実行委員会の開催 3回</li> <li>市民の週間事業の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の週間絵画表彰式、こども議会</li> <li>日時 平成14年11月23日(土)・場所 相模原市議会議場</li> <li>出席者 実行委員、市長、助役他、絵画入選者15名、保護者等約30名、こども議員46名、保護者等約70名</li> <li>市民の週間(市民憲章)啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民憲章ポスターの作成</li> <li>絵画入選作品の展示</li> <li>横断幕、懸垂幕の掲示</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> |            |
| (4)個別計画の概要  | 概要         |
| 計画名   |            |
| 計画年次  | 年度～年度      |

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

|      | 指標名 | 指標式 | 指標設定の意図 | 指標の推移(年度) |    |    |    |    |
|------|-----|-----|---------|-----------|----|----|----|----|
|      |     |     |         | 12        | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 成果指標 |     |     |         |           |    |    |    |    |
| 活動指標 |     |     |         |           |    |    |    |    |

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

|            |         | 平成12年度  | 平成13年度  | 平成14年度  | 平成15年度  | 平成16年度  |
|------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|            |         | 決算      | 決算      | 決算      | 予算      | 予算(見込み) |
| 事業費        | 決算(予算)額 | 924     | 1,142   | 1,081   | 1,112   | 704     |
|            | 人員・時間数  | 0.25人   | 0.25人   | 0.25人   | 0.25人   | 0.25人   |
|            | 人件費     | 2,105   | 2,105   | 2,105   | 2,105   | 2,105   |
|            | その他経費   |         |         |         |         |         |
|            | 合計      | 3,029   | 3,247   | 3,186   | 3,217   | 2,809   |
| 特定財源       |         |         |         |         |         |         |
| 対象数        |         |         |         |         |         |         |
| 対象の単位あたり経費 |         | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! | #DIV/0! |

10 個別評価

|   |  |                     |   |
|---|--|---------------------|---|
| (1)達成度<br>評価<br>B ▼   | A: 達成している  | チェック項目              | ・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低  |
|   | B: 一部達成していない   |                     | ・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低  |
|   | C: 達成していない   |                     | ・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低  |
|   |  | 説明                  | 事業内容から、達成度を具体的な数値で表すことは困難であり、また、目標を設定することもそぐわない。  |
| (2)必要性<br>評価<br>B ▼   | A: 適応している  | チェック項目              | <input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない   |
|   | B: 一部適応していない   |                     | <input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している   |
|   | C: 適応していない   |                     | <input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない   |
|   |  | 説明                  | <input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある<br>市民の週間事業は、市民憲章の啓発とともに自分たちのまちは自分たちでつくるという理念をもって、市民参加を広げることを目的として様々な事業を進めてきた経過はあるが、当初の目的の達成度を測ることは難しい。 |
| (3)有効性<br>評価<br>C ▼   | A: 有効である   | チェック項目              | <input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である   |
|   | B: 一部有効でない   |                     | <input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている  |
|   | C: 有効ではない  |                     |   |
|   |  | 説明                  | 市民憲章の啓発と市民参加の促進を図るため事業を進めてきたが、一事業としてではなく、市の事業全てを通して市民としての意識付けやまちづくりを進めていくべきである。   |
| (4)効率性<br>評価<br>C ▼   | A: 優れている   | チェック項目              | <input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている   |
|   | B: 一部改善の余地がある  |                     | <input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている   |
|   | C: 改善の余地がある  |                     | <input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている<br><input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない   |
|   |  | 説明                  | 市民の週間事業の一つとして実施している「こども議会」については、市民と行政のパートナーシップの確率の上で、将来の市を担う子ども達の意見や提案を知ることにおいて必要である。   |
| (5)公平性<br>評価<br>A ▼   | A: 公平である   | チェック項目              | <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である  |
|   | B: 一部公平でない   |                     | <input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である  |
|   | C: 公平でない   |                     | <input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)   |
|   |  | 説明                  | 絵画募集については、市内小中学校を対象としており、こども議会については、同じく市内小中学校を順番に学校推薦としている。   |
| 成果向上の余地   |  | 事業費削減のために取り得る手段と削減額 |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> あり<br><input type="checkbox"/> ない | 説明:<br>「行政と市民とのコミュニケーションを確立し、市民参加の輪を広げるもの」との提言を受け今日に至っているが、今後は「パートナーシップによるまちづくり」の中でその実現を図るため、平成16年度に向け発展的に廃止をする。 | 手段                  | 市民の週間事業としては、現在絵画募集とこども議会を開催しているが、平成15年度からは絵画募集を廃止し、こども議会のみで開催とする。また、実行委員会形式も廃止し、広聴広報課が実施する。   |
|   |  | 削減額                 | 408 千円  |

11 総合評価

|                                     |        |  |
|-------------------------------------|--------|--|
| 評価                                  | C ▼    | 他自治体の類似事業との比較  |
| 今後の進め方                              |        |  |
| <input type="checkbox"/>            | 継続     |  |
| <input type="checkbox"/>            | 見直し    |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 廃止     | 総合評価に関する説明   |
| <input type="checkbox"/>            | 完了・廃止済 | 市民の週間事業は、市民憲章の普及を主な目的に様々な事業を展開してきたが、現在行っている事業は、絵画募集とこども議会のみである。当初は、「行政と市民とのコミュニケーションを確立し、市民参加の場を広げるもの」との提言を受け今日に至っているが、来年度からは、「さがみはらパートナーシップ推進指針」に基づく個別具体の施策が予定されており、提言は其中で実現が図られていく。したがって、本事業は、平成16年度の「市政50周年」に向け、発展的に廃止する。 |

12 二次評価コメント

|  |
|--|
|  |
|--|